

ぶかい かつどうじょうきょう
部会の活動状況

(障がい児部会、相談支援部会、就労支援部会、みんなの未来部会)

○ 部会の活動状況について

部会名	障がい児部会
開催日時	第3回 令和7年9月2日 (火) 13:30~15:00 第4回 令和7年10月8日 (水) 13:30~15:00
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児部会で取り組むべき課題の選定 課題解決のための具体的方策の立案 課題解決の担当を検討 課題解決へ向けた目標設定とタイムスケジュール
概要	<p>第3回 (R7.9.2) 概要</p> <p>1. 障がい福祉サービスの概要共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定障害児相談支援、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援など。 いずれも「個別支援計画」を軸に連携が必要。 <p>2. アセスメント(実態把握)の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> 生育歴・教育歴・医療的配慮・家族構成などを共通様式で整理し、情報共有の重複を防ぐ。 H24の「相談支援ファイル」再活用を提案。ただし、 <ul style="list-style-type: none"> 保護者任せの管理や記入負担の大きさが普及を妨げた。 デジタル化(アプリ化)による利便性向上の検討が必要。 行動理論(ABC分析・機能分析)に基づく情報共有を推進。 行動=環境の影響と捉え、「環境調整」に重点を置く。 <p>3. こども中心の計画共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育と福祉で計画周期・内容が異なるが、整合性を高め効率的な支援を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> 例:教育「個別の教育支援計画(3年)」⇒福祉「サービス等利用計画(1年)」 例:教育「個別の指導計画(1年)」⇒福祉「個別支援計画(6ヶ月)」 <p>4. 今後の検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立小・中学校の教員を中心に対象設定。 実際のケースをもとにした研修・学習会を検討。 <ul style="list-style-type: none"> 「相談ファイル」を用いた行動理論・ABC分析の実践。 環境調整・支援内容の検討(PDCAサイクルで共有)。 <p>第4回 (R7.10.8) 概要</p>

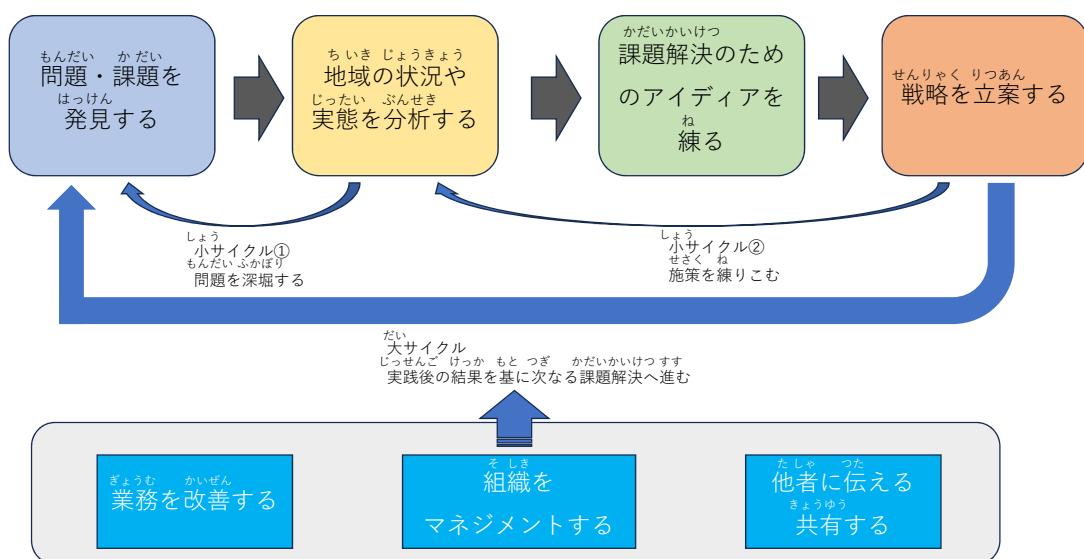
	<p>1. 家庭・教育・福祉の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「トライアングル・プロジェクト（家庭教育福祉連携推進事業）」を参考。 青森市では現状予算確保が難しいが、有効モデルとして今後参考に。 <p>2. ケース会議の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 「相談支援専門員」が中心となりケースを把握。 圏域ごとにケース会議を開催提案。 取り上げる主なケース： <ol style="list-style-type: none"> 医療的ケア児・重症心身障がい児 不登校ケース（保護者の不信感が背景） 未診断児（グレーゾーン児） 専門職（OT・STなど）協力体制強化が必要。 <p>3. 令和8年度研修会計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的：家庭・教育・福祉の共通理解と情報共有促進。 内容案： <ol style="list-style-type: none"> 相談支援ファイルの活用 共通言語の整理 行動理論（先行事象→行動→結果）の共有 環境調整の実践共有 東青地区特別支援連携協議会と連携・後援の可能性も。 次回、研修プログラム案を提示予定。 <p>4. 幼保小連携の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状は「保育所等訪問支援」が中心だが、「児童発達支援」との連携が鍵。 児童発達支援を利用して小学校へ進む児童への情報共有体制整備が急務。 <p>5. 未診断児支援の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の障がい認識への抵抗・不信感が大きく、支援につながりにくい。 職員の精神的負担・離職事例も発生。 医療機関初診待機の長期化、発達支援利用希望による停滞も課題。 「巡回事業の復活」ではなく、現状に合った新支援体制構築を目指す。
--	---

部会名	相談支援部会
開催日時	<p>第6回 令和7年9月17日(水)</p> <p>第7回 令和7年10月20日(月)</p> <p>第8回 令和7年11月10日(月)</p> <p>第9回 令和7年12月15日(月) 予定</p>
協議内容	<p>① 相談支援ガイドラインの検討</p> <p>② 個別事例の報告</p> <p>③ 個別事例の課題の整理</p>
概要	<p>○相談支援部会を二部制で実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一部では、機能強化型事業所が参画し、個別事例の報告(9月まで)と個別事例から見えてきた地域課題の整理(10月～12月)を行っている。(地域課題については別紙参照) 雪問題については、早急に議論を行っている。 現在の参画事業所10ヶ所(七輝、やましろ、八甲、あおば、じょいん、藤、すばる、ほたる、こまきの、2981) 第二部では、部会所属委員4名で相談支援ガイドラインの策定に向けて、7月、10月(12月、1月、3月予定)に議論を行っている。 論点として青森市としての <ul style="list-style-type: none"> ① 基幹相談支援センターの機能 ② 委託相談の機能と役割 ③ 主任相談支援専門員の役割 ④ 地域生活支援拠点の機能を充実させていくためにどのような体制が必要か ⑤ モニタリング報告書への署名の省略 ⑥ モニタリング期間変更時の提出書類 ⑦ 他事業所への引き継ぎ方

主な地域課題

- 金銭管理の支援が必要な方へのかかわり方 (機関等)
- 体調悪化時の医療への支援
- 事業者側の聴覚障害者へのコミュニケーションの取り方
- 除雪の問題 (玄関から公道まで等)
- 冬期間にサービスが受けられない地域
- 強度行動障害を支援する事業所が少ない
- 児童心理治療施設の通所サービスがない
- 居宅介護の育児支援の拡大 (通学支援も含む)
- 乳幼児健診時の標準化されたスクリーニングやアセスメント方法
- 一人暮らしに向けた体験の場がない (親と同居、入所施設から)

問題・課題解決に向けたプロセス



部会名	就労支援部会
開催日時	<p>① 令和7年4月30日(水) 16:00~17:00 ② 令和7年5月28日(水) 16:00~17:00 ③ 令和7年6月9日(月) 15:00~17:00 ④ 令和7年6月20日(金) 16:00~17:00 ⑤ 令和7年7月30日(水) 15:00~17:00 ⑥ 令和7年8月22日(金) 10:00~12:00 ⑦ 令和7年9月4日(木) 15:00~17:00 ※ 令和7年9月5日(金) 13:30~15:00 ⑧ 令和7年9月11日(木) 15:00~17:00 ⑨ 令和7年10月1日(水) 9:00~12:00 ⑩ 令和7年10月15日(水) 13:00~16:00</p>
協議内容	<p>① 就労選択支援事業確認(就労系) ② 職業センター説明 ③ 就労選択支援事業確認(学校、相談) ④ 公共職業安定所説明および企業案件 ⑤~⑩ 就労選択支援事業の準備</p> <p>※は相談支援事業を対象とした就労選択支援説明会のため厳密には部会ではないものの就労支援部会委員として説明を行ったことから掲載している。</p>
概要	<p>当該年度は就労選択支援事業の準備と関係機関の就労、就業系の知識等の底上げとネットワークの土台つくりを主題とした。</p> <p>○就労選択支援事業</p> <p>就労選択支援事業所数は10月時点で4事業所であり、11月に1事業所が追加となる予定。</p> <p>青森市共通の事業の説明、運営に係るスクリプト、計画の例、アセメント方式(ワークサンプル含む)、評価シート、評価票は作成できた。</p> <p>利用者の優先順序については口頭周知にて行った。</p> <p>あとは、就労選択支援事業所による実践とプラッシュアップの確認をしていくこと(他、視覚障害者等のアセメント方法)が部会の役割となる。なおプラッシュアップ自体は青森市就労移行支援事業所連合会(以下</p>

連合会) に任せることとしている。

○底上げとネットワークの土台つくり

市内全就労継続支援AB型事業所に就労選択支援事業のアセスメント先としての協力について、連合会が協力の可否に関するアンケート調査を実施。連合会がアセスメント先の確保に努めていくこととなる。

当初勉強会の要望があつたため実施していたが参加動機付けにはならないようなので勉強会は直接的な要望がない限り実施しないこととした。

今後は、就労選択支援の周知と就労支援のロードマップ作製で情報の共有による底上げを狙うこととしている。

○今後の予定(未定)

令和8年4月と10月(1.5時間)

就労選択支援事業の評価内容チェック(部会メンバーにて)

令和8年5月と11月(1.5時間)

就労選択支援事業の評価内容に疑義があつたケースに関与した事業所への確認(全方面参加または傍聴可としたい)

令和7年12月就労選択支援事業報告会

10日(水)15:30~17:00(就労選択支援事業の申請をした事業所参集にて)

令和8年2月 令和8年度に向けた就労選択支援事業の勉強会

冬休み中 (特別支援学校、反応のあった高等学校、相談向け)

21日(水)15:00~17:00(AB生活介護、相談向け)

28日(水)10:00~12:00(児童デイサービス、相談向け)

令和8年3月 令和8年度9年度生徒向け就労選択支援の交通整理

春休み中 特別支援学校

令和8年4月

就労支援ガイドマップ(予告は2月から)(AB移行相談向け)

視覚障害者就労選択支援アセスメント検討(盲学校教諭協力にて)

部会名	第3回 みんなの未来部会
開催日時	令和7年11月13日 (木)
協議内容	出前講座の試行
概要	<p>(部会までの動き)</p> <p>・第2回の部会であがった意見を一部の委員で協議し、パッケージ案の見直しを行う。</p> <p>・見直したパッケージ案と案の概要説明を部会委員に送り意見聴取と講座実施の意向を確認。</p> <p>○部会の内容</p> <p>出前講座実施の意向があつた委員(当事者・支援者)でパッケージ案に基づき、出前講座を試行的に実施(知的障がいバージョン)。実施後、委員から修正点等の意見をもらう。</p> <p>出前講座の組み立てを修正、当日資料や講座案内の作成等を行い、教育委員会へ相談予定。</p>